

## 地域整備方針

(福岡市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項
福岡箱崎地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>福岡箱崎地域においては、市街地内の貴重な大規模活用可能地として機能を充実・転換する九州大学箱崎キャンパス跡地を中心に、新たな活力・交流や充実した教育・研究環境を生み出すとともに、安全・安心・快適で健やかに暮らすことができるまちづくりを実現</p> <p>そのため、九州大学が百年存在した地としてのブランドと、広大な敷地や交通といった強みを活かし、働く人や学ぶ人、住む人、訪れる人などこれまで以上に幅広い人々が集まり、イノベーションを生み出す新たな拠点を創出</p> <p>また、千年以上に渡る箱崎の歴史や文化も踏まえながら、新たな拠点の創出に向け、イノベーションを生み出すチャレンジできるまちと、幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルや都市空間づくりに取り組み、未来に誇れるまちを創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たな拠点を創出するため、平面・立体・複合的につながる多様な都市機能を誘導</li> <li>○ これまで九州大学が担ってきた知の拠点を継承し、イノベーションを生み出す機能や、人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルを支える機能を誘導</li> </ul> <p>《誘導する都市機能》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーションを生み出す人材・企業の集積を図るため、業務や研究機能、創業を支援する機能</li> <li>・まちの付加価値向上やイノベーションを生み出す人材育成のため、多様な教育機会を提供する機能</li> <li>・働く人や学ぶ人など幅広い人々を惹きつける高質で快適なライフスタイルを創出するため、安全・安心・健やかに暮らせる豊かな居住機能</li> <li>・大学が地域とともに担ってきた役割の継承と、新たな活力の創出のため、文化・情報発信や生涯学習の場など、人々が集う交流・にぎわいの機能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち全体の一体感の創出や、周辺地域の調和・連携・交流に向けた都市空間を整備</li> </ul> <p>《駅の交通結節機能強化》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貝塚駅、箱崎九大前駅、今後設置予定のJR鹿児島本線新駅などの交通結節機能強化のため、アクセス道路や駅前広場、駐車場、駐輪場等を整備</li> </ul> <p>《道路》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福岡市全体の道路ネットワーク形成のため、都市計画道路堅粕箱崎線・原田箱崎線を整備</li> <li>・都市開発事業に伴う安全性や交通利便性向上のため、既存道路拡幅を含め区内道路を整備</li> <li>・街並み景観や安全性、防災性へ配慮するため、無電柱化を推進</li> </ul> <p>《オープンスペース》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な都市環境や憩い・市民活動の場や様々な人が利用し交流するゆとりある空間、災害発生時に危険を避けるため住民等が一時的に避難できる場として</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちづくりの様々な課題を解決しながら、持続的に発展していくため、モビリティやウェルネスなど、最先端の技術革新の導入などによる先進的なまちづくり「Fukuoka Smart East」を推進するとともに、持続的な発展のため、最先端の技術革新の継続的な導入に向けて検討</li> <li>○ 福岡箱崎地域の持つ立地特性を活かしながら、「交流と賑わいの創出」等を進めることにより、福岡市の「グローバル都市」としての知名度と国際競争力の向上に寄与し、市の持続的な成長に貢献する、新たな活力・交流を生み出すまちを目指す</li> <li>○ 環境共生とともに防災・防犯などの安全・安心に資する取組みを誘導</li> <li>○ 周辺地域と調和・連携・交流しながら、一体的な発展に配慮</li> <li>○ 九州大学の地に存在した歴史的資源と緑を生かし、その面影や記憶を継承</li> <li>○ まちづくりマネジメントによる、まち全体の一体感の創出や魅力の向上、安全・安心の取組み等を誘導</li> <li>○ 備蓄倉庫の設置や一時滞り場所の設置など、災害時に備えた対応を誘導</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地等及び周辺地域において、生活利便性や回遊性を向上させるため、高質で快適なライフスタイルを支える生活支援の機能</li> <li>・高齢者や子育て世代、子どもたちなど誰もが、快適で健やかに暮らせる環境を提供するため、関連施設との連携などにより、充実した医療や福祉、健康づくりの機能</li> </ul>	<p>の公園や広場等を整備</p> <p>《歩行者動線》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・跡地等の回遊性を高めるため、歩行者の骨格動線である「歩の軸」、歩道、歩道状空地等の整備により歩行者ネットワークを形成</li> <li>・歩行者の安全性向上のため、多数の人が訪れる施設などへ、駅から連続する安全で快適な歩行者動線を整備</li> <li>・JR鹿児島本線東側との連絡性を強化するため、歩行者動線を整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会状況の変化を注視しながら、新型コロナウイルス危機を契機として生じた変化に柔軟に対応したまちづくりを検討</li> </ul>
--	--	--	--	---